



No.23

平成23年10月25日発行

おい町

# 議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



名田庄拳野

## Contents

- こんなことが決まりました ..... 2
- 町政ここが聞きたい！（9月定例会） ..... 5
- 研修視察報告 ..... 9
- あれからどうなったの？ ..... 11
- 輝く人 ..... 12

第6回臨時会(7月26日)では、庁舎空調設備更新工事1件を原案どおり可決しました。

9月定例会(9月7日から27日)では、平成22年度決算認定、補正予算、工事契約の締結、動産取得といった決算認定1件、議案15件の審議を行い、全会一致で可決しました。また陳情3件を審査し、2件を採択1件を不採択としました。

## 財政健全化4指数は良好な状態を維持

### 平成22年度決算を審議

第7回9月定例会では、報告第12号として、平成22年度決算に基づくおい町健全化判断基準が報告されました。

実質赤字比率、連結実質赤字比率はともに値としてはマイナスのため数値なし、実質公債費比率は7.4%、将来負担比率もマイナスのため数値なしという結果となり、すべての数値において早期健全化基準を大きく下回り良好な状態にあると判断されました。

同じく報告第13号として、平成22年度決算に基づくおい町資金不足比率が報告されました。これは3つの特別会計の資金不足状況を審査するもので、値としてはマイナスで経営健全化基準を大きく下回り、問題はないものと判断されました。

今後とも現在の財政状況に慢心することなく、町の財政状況を真摯な目で見守っていく必要があります。

また平成22年度の一般会計と8特別会計歳入歳出決算は認定は予算決

算常任委員会に付託され審議されました。

そして、審議結果が委員長から報告され賛成多数(12対1)で認定されました。

不安定な経済情勢にあつて地方自治体経営を安定化するためには、自主財源の強化と経費の節減が避けられない状況にあります。

各課局別決算報告書では、改善点の把握と自己評価・課題が述べられています。これらを、次年度以降の予算編成とその執行に活かしていくことが重要だと考えます。

さらに、政策ヒヤリングから予算要求、査定各段階の経緯も、順次、情報提供され、透明性の高い町政運営が進められることを期待します。

### 主な質疑内容・指摘事項

**問** 収入未済額のうち、不能欠損処理されたものの具体的理由は。

**答** 本人死亡や居所不明、接触不能などの理由により、法に基づき時

効処分などを行ったものです。

**問** 福井県滞納整理機構へは平成21年度参加し、22年度は参加していませんが、どのような参加計画となっているのですか。

**答** 平成23年度からの3年間は、嶺南全市町が参加します。

その後の参加は、再度幹事会で検討されることになっています。

**問** 総合運動公園運営事業は、昨年度に続き多額の不用額を出していますが、改善すべきでは。

**答** 3月補正時に減額補正をしていますが、1月から3月までの期間経費の試算が困難になっています。今後、検討を重ねます。

**問** 名田庄地域の一部で鉛管取替工事が行われていますが、他に対象になる地区はありませんか。

**答** 他に該当地区はありません。

**問** 介護保険給付基金の原資には、介護保険料も入っています。本来、保険料増額などの激変緩和措置などに積極的に活用すべきでは。

**答** 介護保険法が改正されたことなどをを受けて出される県の方針に従って運用したいと考えています。

平成22年度決算

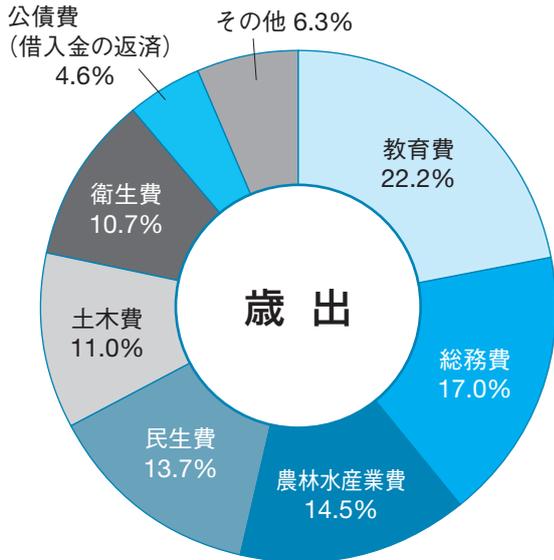
地方交付税の減少により経常収支比率が86%となるも健全

これが一時的な現象なのか注視していきます

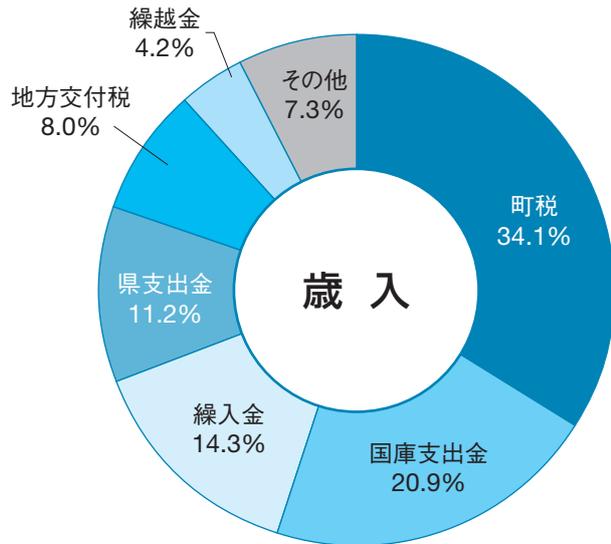
※経常収支比率は、歳出に占める固定的経費の比率で、率が低いほど自由度の高い町政運営が可能となります。

■一般会計

【歳出】 112億 8590万 6千円



【歳入】 122億 2066万 2千円



■特別会計

(単位：円)

区分	歳入			歳出			歳入歳出差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	87,821,592	27,042,992	60,778,600	87,440,392	0	87,440,392	△ 26,661,792
国民健康保険	798,555,617	86,427,769	712,127,848	798,555,617	11,855,811	786,699,806	△ 74,571,958
国民健康保険診療	107,296,236	11,855,811	95,440,425	103,263,243		103,263,243	△ 7,822,818
介護保険	726,549,905	133,496,731	593,053,174	721,839,494		721,839,494	△ 128,786,320
介護サービス	11,247,695	9,308,615	1,939,080	11,247,695		11,247,695	△ 9,308,615
簡易水道	701,131,558	568,946,608	132,184,950	701,131,558		701,131,558	△ 568,946,608
農業集落排水	442,540,667	339,769,485	102,771,182	442,540,667		442,540,667	△ 339,769,485
特定環境保全公共下水道	123,771,792	105,892,511	17,879,281	123,771,792		123,771,792	△ 105,892,511
合計	2,998,915,062	1,282,740,522	1,716,174,540	2,989,790,458	11,855,811	2,977,934,647	△ 1,261,760,107

おぼえておきたい  
この「数字」

平成22年度末 地方債(借金)残高 72億 495万 8千円  
21基金(貯金)残高 142億 7177万 7千円

健全化判断比率

(単位：%)

項目	本町の比率(前年値)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	14.86	20.0
連結実質赤字比率	- (-)	19.86	40.0
実質公債費比率	7.4 (8.2)	25.0	35.0
将来負担比率	- (-)	350.0	-

資金不足比率

(単位：%)

項目	資金不足比率(前年値)	経営健全化基準
簡易水道事業	- (-)	20.0
農業集落排水事業	- (-)	20.0
特定環境保全公共下水道事業	- (-)	20.0

こんなことが決まりました

## 旧名田庄村分の普通交付税が復活

意見書が認められ6億3225万円の増収

9月補正予算のうち、歳入の地方交付税増額分6億3225万1千円は、算定方法の変更に伴い減収となっていた旧名田庄村分が、意見書の提出により復活したものです。

### ■一般会計

4億3934万円

### 〔主な歳出〕

#### 総務費

##### ●低炭素化街づくり推進事業

4524万円

- ・総合運動公園照明LED化26基
- ・電気自動車充電設備工事3カ所
- ・きのこの森(鹿野)
- ・情報交差点ぼーたる(本郷)
- ・道の駅「名田庄」(名田庄納田終)
- ・電気自動車1台購入

##### ●環境保全活動事業

460万円

環境保全監視員が巡視した結果により、町内23カ所の不法投棄物の処分を行うもの

### 民生費

##### ●地域支え合い体制づくり事業

981万8千円

要援護者情報管理システム構築

##### 農林水産業費

##### ●水田農業活性化事業

1860万4千円

3つの認定農業者などがソバ刈コンバインを導入することに対して購入補助を行うもの

松井農園・国久博一・名田の庄

##### ●消費者に選ばれる福井米づくり事業

1億1867万8千円

県の補助金を受けて行われる大飯カントリーエレベーターの整備・改修(循環乾燥器の導入と荷受ラインの改修)に対して助成を行うもの

### 商工費

##### ●ふるさと消費元気フェア開催事業

405万円

おおい町ふるさと商品券の発行とダイナマイトフェア4の開催

### 災害復旧費

##### ●現年発生農業用施設災害復旧事業

2620万円

- ・農地法面等復旧 12カ所
- ・農地流入土砂除去 5カ所
- ・農業用施設土砂除去等 9カ所
- ・農業用施設復旧 1カ所

### 総務常任委員会議案審査結果

#### 〔審査された主な議案〕

##### ●インターネット関係機器の購入

庁内インターネット構築のためにインターネット関連機器を購入するもので、入札の結果、リコージャパン株式会社が3486万円で落札しています。

(全会一致・可決)

##### ●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める陳情

(全会一致・採択)

●ポリオ不活性化ワクチンの早急な導入等について意見書提出を求める陳情

(賛成少数・不採択)

現在、不活化ワクチンは、国の承認が得られていません。

このため、事故発生時の補償がないうことや、さらには、来年度には国

産ワクチンの承認が出て使用開始されることなどから不採択としました。

### 産業建設常任委員会議案審査結果

#### 〔審査された主な議案〕

##### ●えこあいらんど整地用車両の購入

えこあいらんど整地用としてハイブリッド型油圧シヨベルを購入するもので、入札の結果、コマツサービス株式会社が1659万円で落札しています。

(全会一致・可決)

##### ●大飯地域ごみ収集運搬車の購入

大飯地域ごみ収集運搬車(塵芥車、ダンプ車)を購入するもので、入札の結果、有有限会社オーイ自動車が生1927万8千円で落札しています。

(全会一致・可決)

##### ●名田庄地域ごみ収集運搬車の購入

名田庄地域ごみ収集運搬車(塵芥車)を購入するもので、入札の結果、久坂モーターズが1031万1千円で落札しています。

(全会一致・可決)

# 町政二こが聞きたい!

9月定例会では、9人の議員が一般質問をしました。

**■賑わい創出施設の計画は進んでいますか**  
**町長** 多くの方が参加しやすい計画を協議しています



森内 正美

**問** 現在計画中の賑わい創出施設の事業概要は。

**答** (町長) うみんぴあ大飯の来訪者への飲食・休憩所の提供、情報発信の場、住民が生産者となつて取り組む地元特産品の販売などを基本に、総事業費6億円程度で、平成24年度中の完成を目指しています。

**問** 道の駅のような施設だと思えますが、その詳細は。

**答** (商工観光振興課長) 鉄骨平屋建、延床面積約1200㎡で、ファーストフード店や地元生産者による農林水産物の直売所、観光案内所などを設ける計画としています。

**問** 年間利用者数、年間売上げ、収益の試算は。

**答** (商工観光振興課長) 年間利用者は、交通量調査の結果から算定して、年間38万人を見込んでいます。初年度は約1億8千万円程度の売り上げを見込み、経費も同程度かかると試算しています。

**問** 地元特産品のうち、特に農産物の生産者の多くがこの事業に参加できるかがポイントになると思いますが。

**答** (町長) 町民の皆様がこの事業に参画していただければどうか成功の鍵となります。今後、多くの方に説明をしていきます。完成するまでの間、「ふるさと市場」を続ける予定ですが、

**問** (商工観光振興課長) 商工会主催で、こども家族館横の工

ントランス広場で月一、二回程度の農林水産物販売を計画しています。

**■企業誘致の取り組み体制を強化すべきでないか**  
**町長** 専任職員を配置し、関係機関との連携を密にしています



今川 直樹

**問** 進まない企業誘致の現状認識は。

**答** (町長) 社会情勢は厳しいですが、優遇制度を周知しながらに努力していきます。

**問** 担当職員を1名配置するだけでは、地域間競争に遅れをとります。

**答** (町長) 政策の根幹である企業誘致体制のさらなる充実強化が必要では。これ以上の人員増員は困難です。も体制は劣っていません。

**問** 施設の有効活用に視点を置いた助成制度を創設すべき

**答** (教育長) 減免制度などを設けていますが、他の助成制度も検討していきます。

**問** 「あらゆる施策に文化力を活用する」という視点で、文化行政プランを策定しては。

**答** (教育長) 生涯学習推進計画の中で位置付けています。

**問** 文化行政と生涯学習推進は基本的に違う問題で別立てで考えるべきでは。

**答** (町長) 町はそれぞれの施策を一緒に取り入れて行っています。



竣工式が行われた里山文化交流センター

**■里山文化交流センターの運用に住民意見の反映を**  
**教育長** ボランティアスタッフや利用団体の活動を支援します

町政二こが聞きたい!

### ■災害時要援護者対策の進捗状況は

**町長** プロジェクトチームを立ち上げ支援体制を確立します



松宮 史知

**問** 「災害時要援護者対策」の進捗状況は。

**答** (町長) 「支援対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、具体的な支援体制構築のための「避難支援プラン」と「災害時要援護者マニュアル」の策定作業を行っています。

また、民生委員の協力を得て、要援護者リストの更新やパソコンによる「要援護者台帳システム」の導入を進めます。

加えて、本年度の防水訓練の中で避難訓練を行いました。結果として支援者の確保が注目されました。

このため、今後は、地域ぐるみの支援体制の構築を、「自主防災組織」の構築という形で推進していきたいと考えています。

**問** 避難支援者との情報共有は個人情報保護法に違反しませんか。

**答** (住民福祉課長) 台帳作成時に了解を得るようになっています。

**問** 災害時の連絡体制はどうなっていますか。

**答** (住民福祉課長) 現在は、本人と民生委員に電話をしています。

**問** が、将来は放送にしたいと思っています。支援者名簿に落ちはありませんか。

**答** (住民福祉課長) 民生委員や福祉推進員の協力を仰ぎ、落ちのないようにしていきます。

**問** 要支援者リストの更新間隔はどうなっていますか。

**答** (住民福祉課長) 概ね3カ月です。

**問** 避難経路策定の元となるハザードマップ作成の進捗状況は。

**答** (総務課長) 現在、東日本大震災を受けて津波に関する見直しを行っているところで、年内を目処に発行したいと考えています。

### ■中学校指定通学路には防犯灯がなく、暗くて危険です

**町長** 子供達の安全安心のため、県の補助金を活用し早急に計画します



尾谷 和枝

**問** 大飯中学校の通学路で県道の万願寺から三森までの区間は、バス停にしか防犯灯がなく危険ですが。

**答** (教育長) 「通学路促進事業」などの県補助金を活用し、早急に設置を計画します。

### ■大飯地域のバスと鉄道との乗継連絡が最悪です

**町長** 事業者から改善に向けた前向きな回答を得ています

**問** バスと鉄道との連絡が悪いため、通勤・通学・通院などに支障をきたしています。送迎に頼らざるを得ないこの状況はいつになったら変わるのですか。

**答** (総務課長) 先月の会議で、事業者から時刻改善への前向きな回答を得ています。

向きの回答が得られました。実現に向け、再度申し入れます。

**問** 大飯地域のバス運賃は名田庄地域の3倍と高額です。

**答** (町長) 料金体系の見直しなど、福祉バスとの関係も含め、全体を見直す時期にきていると思います。

### ■非常災害時の情報伝達方法の改善を

**町長** 情報発信機能の有効活用などを積極的に充実させます

**問** 有線放送を聞けない2世帯住宅者や町外勤務者への有効な情報伝達手段として、町ホームページの緊急連絡欄を充実し見やすくするべきでは。また、学校から保護者への連絡方法も見直しては。

**答** (町長) 早期情報収集に努め、音声告知放送やホームページなどの情報発信機能を充実させ、有効活用と、いち早いお知らせに努めます。

## ■ニコニコバス佐分利川公園線の見直しを 町長 抜本的に見直す時期にきています



古石 實

**問** 地域交通会議で改善を検討されたと聞いていますが、その内容は。

**答** (町長) 朝夕の直通便の導入やバス停新設、時刻修正、路線の延長などを実施しました。

**問** 依然として利用者の評判が悪いです。

**答** (町長) 一定の利用者の増加はみられましたが、路線バスとの競合や所要時間の問題などから、期待した成果は得られていません。

**問** お金の無駄遣いだと言っ声も聞こえてきますが。

**答** (町長) 改善案を色々検討しましたが、それぞれに課題が多くありますので、今後、さらに

検討していく必要があります。

**問** 不人気なままでも、今後も継続していくつもりですか。

**答** (町長) 路線バスの一本化や\*デマンド型バスの導入など、抜本的な見直し策を検討します。

**問** 住民の意見を聞く場も設けたいですか。

**答** (町長) 色々な方の意見を聞きながら、より良い方向で検討していきます。



見直しが必要な「にこにこバス」

### ※デマンド型バス

利用者の要求に対応して運行する形態のバスで、条件に応じて基本路線外の迂回路線を経由する迂回型や、希望乗車点へ迎えに行く形の経路で運行するエリア型などがある。

## ■住民福祉の現状と問題点を問う

町長 「生涯現役の笑顔あふれる支えあいのまちづくり」を基本理念に高齢者施策に取り組みます



森口 精治

**問** 町内を地域ごとに見ると、山間地域では高齢化率が33%に達しています。

特に山間地域や独居の高齢者に対して十分な生活支援をすべきでは。

**答** (町長) 町では、「おい町高齢者福祉計画」や「第四期介護保険事業計画」に基づいて事業が進められています。

特に、災害時や緊急時への備えは、要援護者の台帳整備を行い、体制の整備が進んでいます。

また、地域ぐるみでの支援体制をつくるため「自主防災組織」の結成に向けて区長説明会が実施されています。

(副町長) ご指摘の方々に対して

は、外出時の移動手段や買い物支援などに、どのようなことができるのか検討していきます。



貴重な買い物手段となっている移動販売車

### ■若者出会い交流応援事業の現状は

町長 参加者の意見を聞き、魅力ある企画にしていきたいです

**問** 若者出会い交流応援事業の現状は。

**答** (住民福祉課長) 平成22年度からは、年2回事業を実施しています。今後は、参加者のアンケートを参考に、さらに魅力ある企画にしていきたいと考えています。

## ■主要地方道坂本高浜線の現在の整備状況は

**町長** 平成24年度に完成すると聞いています



中本 茂

**問** 主要地方道坂本高浜線の現在の整備状況は。

**答** (町長) 平成15年度から着手された第一期工事2.34キロメートルは、既に1.3キロメートルが完成し供用開始されました。残り1.0キロメートル余りは、平成24年度の完成に向けて工事が進められています。

**問** 原子力災害時に備えるため、防災道路の整備が必要では。

**答** (町長) 大島半島には、幹線道路が県道赤碓崎公園線だけしかないため、地元の不安の声を国や県に要望してきたところです。

原子力発電所所在市町協議会でも、国道27号を主要道路として、そこから発電所までのアクセス道路を

多重化する方針が出されました。

町でも、さらに要望していきたいと考えています。

## ■南浦住宅地整備事業の進捗状況は

**町長** 整備に向け準備作業を進めています

**問** 大島南浦地係埋立地の分譲住宅地整備事業の進捗状況は。

**答** (建設課長) 埋立経費借入金の償還が本年度で終了することから、1万100㎡を20区画の住宅用地として整備し、分譲することを計画しています。

現在、用地測量や基本計画策定に向けての準備作業を進めています。



住宅用地の整備予定地

## ■原子力災害に対する安全対策は万全か

**町長** 国が二元的責任を持ち、納得できる安全対策を求めます



小川 宗一

**問** 福島第一原子力発電所は、震災で津波による甚大な被害を受け、放射性物質を外部放出するという最悪の事態になりました。その後の原子力行政と包括的な総合防災安全対策は。

**答** (町長) 原子力発電事故の知見から、安全対策の徹底と納得のいく説明を国に対して強く要望していきます。

**問** おおい町地域防災計画の原子力防災編資料の整備は。

**答** (総務課長) 年次整備は十分ではありませんが、今後は国の制度を見極めて的確な方法で処理します。

## ■今後の自然エネルギーへの対応は

**町長** 国策動向を注視しながら、将来を見据えた対応をします

**問** 町の将来を思考した、自然エネルギーの総合的な考え方は。

**答** (副町長) 自然再生エネルギー源には、太陽光や風力などがあり、国の動向を注視しながら利用施策を検討します。

**問** 自然エネルギーの小規模的な発電を思想的に活用する考えはありませんか。

**答** (副町長) 小規模発電は、開発途上のところもあり、これからの市場を慎重に見極め対応します。

**問** 太陽光発電の導入促進事業にもっと積極的な支援をしては。

**答** (副町長) 国の中長期的なエネルギー政策を考え、助成制度の拡充などの必要性を前向きに検討します。

## ■老朽化原発などへの対応は

**町長** 今後のエネルギー政策の方向性は、国民的議論が必要



猿橋 巧

**問** 老朽化原発は廃炉にすべきだと思いますが。

**答** (町長) これからも原子力発電所が必要であるという見解が示されるのなら、再新の技術を入れたプラントに置き換えることが住民の安心につながると思います。

**問** 町内で行われた放射能汚染調査の結果は。

**答** (教育長) 8月に町内の幼小・中学校のグラウンドで空間線量率調査を行いました。すべて測定器の検出限界値以下でした。

## ■再生可能エネルギーの促進を

**町長** 助成の拡充や協議会の創設を検討します

**問** 太陽光発電の導入を促進すべきでは。

**答** (副町長) 本町では、1キロワット当たり9万6千円の補助金ですが、今後、助成の拡充や協議会の立ち上げを検討していきます。

## ■相愛学園セミナーハウスの解体・撤去は問題では

**町長** 施設改修には多額の費用が必要で、存続は困難です

**問** 建設時に多額の補助を行っていることから、解体・撤去するには問題があるのでは。

**答** (副町長) 学園側からの施設閉鎖の申し出を受けて以来、別用途への転用も含めて、有効活用する方法を検討してきました。

しかし、存続させるためには、多額の改修費用が必要になることから、やむを得ず断念し、解体撤去後、きのこの森の駐車場として利用することになりました。

なお、補助金の返還は求めません。

## 町議会議員研修会報告

【研修日時】平成23年7月4日  
【研修場所】福井県自治会館

【参加者】議員14人

### 政策立案能力のある議会に

県町村議会議長会の伊藤参事が講師となって、地方議会に対する住民の評価と地方議会の現状、県内各町の議会活動の取り組みなどを説明されました。

まず、住民の地方議会への評価は、日本世論調査会の資料によると、現状に不満足が60・5%となっています。その理由としては、議会の活動が住民に伝わらないが53・3%、行政のチェック機能を果たしていないが33・2%などと厳しい評価となっています。

この結果を踏まえ、住民への議会報告会、議会基本条例の制定、議会の政策立案能力の向上、通年議会の開催など、積極的に活動をしなければならぬことが指摘されていると説明されました。

本町議会では、議会報告会や議会基本条例の制定など、徐々に

に活性化に向けて動き始めていますが、今後は首長と善政競争をして、三元代表制の存在意義を再認識しなければなりません。国政のような与野党関係は存在しない監視と政策立案の役割を発揮することが最も重要であると思います。

県内8町の議会活動の取り組み状況を説明された中で、主なものは次のとおりです。

- 議会報告会を開催している町  
おおい町、永平寺町
- 一般質問の一問二答方式の採用  
おおい町、永平寺町、高浜町
- 議会生中継をしている町  
おおい町、永平寺町、池田町、高浜町
- 会議を公開していない町  
池田町、越前町、高浜町
- 政務調査費を認めている町  
高浜町

この研修を糧に、活性化に向けてさらに取り組みます。

## 町村議会広報研修報告

【研修日時】平成23年5月12日

【参加者】議員6人

【研修場所】東京都砂防会館別館

### 作文は読解作業の逆

本研修は、全国の町村議会から広報委員会関係の議員を集めて行われました。

その内容は2日間で合計4項目に分けて行われました。1日目最初の演題は「わかりやすい文章表現・表記について」、次に「写真に関する肖像権、著作権」、2日目は実際に発行された「議会だより」を使ったクリニックが行われました。

その中で、初日最初の研修で「わかりやすい文章表現・表記について」と銘打った武庫川女子大学の佐竹秀雄氏による講演は次のように大変ユニークなものでした。

「我々が受けた日本の現代国語教育では、①文章のセクションわけ、②段落ことの要約、③全体のアウトライン作成、④全体の主題類推という流れのみを学んでいく。このため作文という全く逆の

作業を強いられる課題に対しては、誰しも経験が希薄であるため苦手意識を持っている。しかしながら解決策は簡単で、先の文章解読の全く逆の作業を段階を追って行えば簡単に文章ができる」というものでした。

また同時に「起承転結」といった日本的な理論展開方法のほかに、欧米的な「結論が先にきてそれを支える事実を列挙する」理論展開方法も学習しました。

いずれの講義も大変示唆に富んでおり興味深いものでした。これから吸収できた成果を今後の「議会だより」編集に生かしていきたいと思えます。

佐竹氏による文書表現・表記の講演



佐竹氏による文書表現・表記の講演

## 総務常任委員会研修視察報告

【研修日時】平成23年7月31日・8月1日

【研修場所】東京都毎日ホール

【参加者】委員8人

### 政策提案型の地方議会になる

ローカルマニフェスト推進地方議員連盟が主催する「2011マニフェストサミット」に今回初めて参加しました。

初日は、早稲田大学の北川正恭氏の講演がありました。その中で、「地方分権一括法が施行され、地方主権はますます進んでいく。今後は、立法権を持つ地方政府、地域主権が、国と財政面において対等の関係になることを目指し、地方議会が力を持ち、国を変えなければならぬ。地方議会改革の次のステップは、提案型の地方議会になることである」と議会の役割の重要性を強調されていました。

2日目は、神奈川県議会議員菅原直敏氏が「議会改革50の提案」と題して講演されました。

神奈川県議会では、議会基本条例制定後、条例に基づく取り組みがされていなかったため、会派を問わず勉強会を実施して50の提案

をし、現在徐々に具現化を進めていく現状を説明されました。

また、議会改革は、改革ではなく適正化である。自立できない議会に行政への政策提言は困難であると述べられたのが印象に残りました。

また、みずほ情報総研の藤森克彦氏は、社会保障では少子高齢化が進み、日本社会の底が割れてきた。地域社会のつながりや社会保障の強化が求められると講演されました。

大変勉強になる研修を受けて、今後、任期中に目指すところは、政策提案型の議会になることだと感じました。



北川氏の基調講演

# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成22年9月定例会からピックアップしました。



### 自然エネルギーの 利用促進を

小規模太陽光発電所などの建設に向けた調査研究を行い、真の「エネルギーの町」を目指してはどうか。

(猿橋 巧 議員)

町長答弁

### 誘致活動を進めます

関西電力が商業用大規模太陽光発電設備を若狭地方に設置するとの提案があり、本町で整備されるよう、誘致活動を進めます。

どうなった？

### メガソーラーの整備を計画

「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づく大規模太陽光発電所の整備計画が、本町を適地として、基本研究や概要・詳細設計の段階に入りました。



高浜町内に設置されている研究用太陽光パネル



処理施設の完成予想図



### 有害鳥獣処理施設整備 の進捗状況は

若狭町で平成23年度供用開始に向け建設が計画されている有害鳥獣処理施設の進捗状況は。

(松井 榮治 議員)

副町長答弁

### 用地が決定し建設準備 を開始

建設予定地が若狭町海土坂に決定し、平成21年度に基本計画が策定されています。平成22年度では、用地取得・造成や実施設計が行われます。

どうなった？



### 建設工事が着手されました

平成23年度では、建物や焼却炉、外構整備の工事が発注され、着手されました。

なお、供用開始の時期は、平成24年4月頃が予定されています。

あれからどうなったの？

# トールペイントに愛を込めて

Chi-House (チイハウス) 代表 渡邊 千穂さん

千穂さんが、8年前に開いたトールペイント教室は、いつもにぎやかな笑い声で溢れています。

「トールペイント」とは、ヨーロッパで生まれた装飾技法で、木やブリキ、ガラス、陶器、布などのあらゆる素材に絵を描き装飾するものです。

色が豊富で扱いやすいアクリル絵の具を使うので、親しみやすく上手に描けるため、インテリア装飾として人気があります。

作品の種類には、壁飾りや表札、盆、食器、ポット、椅子、収納ケース、バッグ、エプロン、傘などがあり、2時間位でできるものから、手の込んだ大作まで様々です。

メンバーの方に、どんな作品を作っているのか聞いてみたところ、「子供に兜(カブト)やお雛様、クリスマス、ハロウィンの絵の節句飾りを」、「学校からのお便り入れやCDケースを可愛くペイント」、「家族に四季折々の花を描いた木椅子を」、「娘の嫁入りに持たせる洋裁箱を」など、「子供の喜ぶ顔が見たい」と皆さんそれぞれに思いを込めて製作しておられます。中には1年越しの作品もあるとか。きっと家族を思う愛情が作品になっているのですね。

メンバーは約20人。子育て真っ最中の方が多く、全員揃うことはありませんが「無理せず長続きしているし、来ると楽しい。喋ってばかりなんやけどね」と次々変わる話題に口と耳も大活躍しながら、しっかりペイントの指導と作品

の手も進んでいく聖徳太子ばりの器用さにも拍手!の楽しい時間でした。(尾谷 記)



# 輝く



## 大好き!! バレーボール

本郷バレーボールスポーツ少年団 監督 足立 信二さん

小学生のバレーボール教室として創部24年。以前は、人数が多く強いチームを目指した時期もあったそうですが、今は、バレーボールが大好きな団員5人が、週に2回元気にボールを追いかけています。

「自分に負けない」をモットーに、体力・精神力とともに頑張る力をつけることや、あいさつ・礼儀を大切にすることなど、競技だけにとどまらない指導をされています。

今年の夏は、合宿を兼ねてゲンキー杯県大会決勝戦を見学したそうです。夜はバレー勉強会で盛り上がり、帰りに水族館へ寄って「楽しかった! チームワークはバッチリです!」とニコリ。また、夏休みに開催したバレーボール教室では、30人も集まり大盛況だったそうです。

監督の今の悩みは、「何とか部員が増えて、試合で勝つ喜びも教えてあげたい」とのこと。団員大募集中だそうです!!

### 保護者のお話

「体力が付き、目に見えて運動能力も上がり、驚いています。精神的にも強くなってきました。指導者が愛情をもって厳しく指導してくださるので信頼しています」

### 団員のお話

「練習大好き! 中学校へ行ってもバレーボールを続けます。全日本の栗原恵さんみたいにもっともっと上手になりたい!」

この日も体育館には子供達の元気な声が響いていました。みんなガンバレ~!! (尾谷 記)

## 議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。

次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

### 12月定例会の予定

会 期: 12月9日から22日まで(14日間)

本会議: 9日(議案提案理由説明)、20日(一般質問)、22日(採決)

委員会: 総務・産業建設常任委員会(13日)、予算決算常任委員会(9日)

### 【編集後記】

平成23年第7回議会定例会が終了し、議会だより23号を発行することができました。定例会は9月7日から27日までの21日間で、15件の議案や1件の認定、3件の陳情が審議されました。

一般質問は、9人の議員が質問し、各委員会においても熱心な議論がなされました。経過を詳細にお知らせしたいのですが、紙面の都合上、本誌となったことをお許しください。議会基本条例に沿って、議会が活性化に努めていることをご理解賜りますようお願い申し上げます。

今年は台風により甚大な被害が発生しました。自然の猛威には、現代の科学をもってしても無力である現実を認識させられました。

最善の方法は、平常時に十分な備えに努めることと、非常時には適切な対応をとることに尽きると言えます。今年の災害を教訓としていきたいと思えます。

議会だよりが地域活性の一助となるよう、さらに編集に努めてまいります。(森口)